

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

東日本大震災の復興は予想以上に遅れている様子です。被災された方々のご苦労は計り知れません。糖尿病に関しては日本糖尿病協会と学会が尽力して、糖尿病関連の物資（飲み薬やインスリンなど）に関しては調達が足りていると聞いています。人的な医療支援としても大学病院をはじめ多くの病院が連携して交代でスタッフを送っているところです。それぞれの方がいろいろな支援を考えていらっしゃるかと思います。つかさ会会員の皆さんも、もしも糖尿病患者さんのために…と考えていただけるなら、今月号の『さかえ』P22の義援金を協会の本部へ送ることも一手ですね。直接本部に振り込んでいただいても、つかさ会を通していただいてもどちらでも結構です。先月の会報にも記事を書いたところ、つかさ会事務局に送ってきていただいた会員の方もいました。ありがとうございました。もちろん金銭でなくても、節電でもなんでも小さいことでも皆でやってみましょう！「気はこころ」って言いますよね。

5月8日は、『つかさ会総会と春の講演会』です。先月号に葉書を入れましたが、返信がまだの方は宜しく願います。講演会の内容は、現在スタッフが日夜準備中です。くどいかもしれませんが、ここでも募金を集めてみようかと思っております。

今月号の『さかえ』では、“低血糖症状あれこれ(P34)”を読んでみてください。しかし、糖尿病になったらすぐに低血糖の心配をするのは間違いです。糖尿病の飲み薬のなかには、めったに低血糖を起こさない種類があります。もちろん食事・運動療法だけだったら起こりません。インスリンを使用していて低血糖が良く起こる方、または低血糖を起こす可能性が高い飲み薬を使われている方は必見ですが、そうでない方は参考程度に眺めてくださいね。

次には、“糖尿病うそ!?!ほんと!?(P56)”を読んでみてください。「インスリン治療をすれば膵臓がサボって…」大きな誤解ですね。そう言えば、僕が大学生の頃の古い話ですが『ゴッドファーザーⅢ』で主人公のマイケル・コルネオーネがインスリンをお腹に打っていましたね。さらには低血糖発作も起こしていました。昭和の時代にはインスリンは糖尿病最後の手段みたいに思う方も多かったのですが、今は違います。どの飲み薬よりも副作用が非常に少なく、微調整も可能で、体にも優しいんですよ。

「卒煙」新時代来る！(P8) 愛煙家の方は是非読んでみてください。増税の前に備蓄された煙草は底をつきましたよね。どうでしょうか、卒煙しませんか。